

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課
担当課長名：田中 衛

事業名 ：市道7号線	事業区分 ：地方道	事業主体 ：とみぐすく 豊見城市						
起終点 ：自：とみぐすく 豊見城市字与根 至：とみぐすく 豊見城市字瀬長	延長 ：1.36km							
事業概要 ：市道7号線は市道10号線を起点とし、国道331号小禄バイパスを結び市道6号線に至る延長1.36kmの道路である。 当該路線は周辺の道路網の変化や開発に伴う交通量の増加に対して並走する国道331号を補完する重要な道路となっている。このため、狭小幅員を14.0mに拡幅し、歩道の設置により円滑な車両の通行と歩行者の安全確保のため実施するものである。								
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手						
H9年度工事着手								
全体事業費 ：約 15 億円	事業進捗率 ：82%	供用済延長 ：1.3km						
計画交通量 ：5,000台/日								
費用対効果分析結果 ：B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 25.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 2/17 億円 (事業費：1/17億円 維持管理費：0/0億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 41/41 億円 (走行時間短縮便益：37/37 億円 走行費用減少便益：4/4 億円 交通事故減少便益：1/1 億円)						
基準年 ：平成17年								
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・安全な生活環境の確保（歩道が無い区間に歩道が設置されたことによる安全性向上） 								
関係する地方公共団体等の意見 ：豊見城市は地域住民から早期の道路整備について要請を受けている。								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：市道7号線の沿線や周辺に大型商業施設が整備されたことにより市民の利用頻度が高まり交通量が増加している。								
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：平成17年度末までに用地進捗率は100%、工事進捗率は64%であり、平成18年度に完了予定である。								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：用地補償交渉が難航し長期間を要したが、平成17年度までに用地補償を終了し、工事を進めている。今後は、平成18年度に工事完了し、全線供用予定である。								
施設の構造や工法の変更等 ：特になし								
対応方針 ：事業継続								
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。								
事業概要図 <table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">凡</td> <td style="text-align: center;">例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">再評価対象事業</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">うち供用中</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table>			凡	例	再評価対象事業		うち供用中	
凡	例							
再評価対象事業								
うち供用中								